

第53回 風土と民度（広報まつぎき 令和8年5月号掲載）

皆さんは、「風土」と「民度」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。「風土」とは、地域固有の「自然環境」と「そこから派生する人々の暮らしや歴史・文化」のことを表す言葉です。自然環境による土台、それへの人々の適応と工夫、そして歴史と他地域との交流の積み重ねが絡み合い、その地域の「風土」が形成されます。先人から脈々と受け継がれてきた大切なものの一つです。

次に「民度」とは何でしょう。ある社会や集団に属する人々（国民や住民）のモラルやマナー、教養、公共心、道徳心の程度や成熟度のことだそうです。最近では、差別的・侮蔑的な響きがあるため使用には慎重さが求められる言葉です。しかし、海外のスポーツ大会での日本人のマナーの良さから、民度の高さが世界中でニュースになっています。

一方、我が足下を見たときに、自分自身はどうなんだろうと改めて見つめてみる今日この頃です。かつて風待ち港として栄えた日々を礎に発展してきた我が町の「風土」と「民度」を今一度見つめ直して、改めて誇りを持ちたいものです。

松崎町らしく、素晴らしい「風土」と誇り高き「民度」を胸に。